

埼盲交通安全の日通信

No. 3

埼玉県立特別支援学校

塙保己一学園

生徒指導部・自立活動委員会

令和2年5月1日

《白杖編》

1 白杖の3つの役割を知っていますか？

- (1) 視覚障害者のシンボル:持っていることで、見えない人・見えにくい人だと周囲の人にわかってもらえます。
- (2) 危険の察知:路上の障害物や段差などを見つけることができます。白杖で察知し、止まることができます。
- (3) 情報の収集:目印になるもの、目的のものを見つけることができます。例えば、誘導ブロックで示している次の曲がるところを、警告ブロックを踏むのより早く見つけられます。

*道路交通法により、「視覚障害者は、政令で定める杖(白、または黄色の杖)を携え、又は政令で定める盲導犬を連れていなければならない」と定められています。

2 白杖点検をしましょう。次の項目について確認してみましょう。

- (1) 石づきが壊れたり、減りすぎてシャフトまで削れそうになったりしていないか。徐々に削れて短くなります。斜めに削れるのは問題ありません。時々点検したくさん削れたら交換します。

- (2) 長さが体に合っているか。

全盲の人では、剣状突起からこぶし1個分上に来る高さ、だいたい、脇の下くらいまでの長さです。また、歩くスピードや腕力によって、安全で使いやすい長さを選びます。成長期のお子様用の長さ調節のできる白杖もあります。

(3) シャフトが曲がっていないか、折り畳みではゴムが緩んでいないか。

折り畳み杖のゴムのゆるみは、ゴムを交換すればまた使えます。

<交換や修理が必要な場合>

学校に連絡してください。一時的に、学校のを貸し出します。また、次の購入をするにあたっては、いくつかの種類を試してみて選びましょう。購入や補装具としての申請の手続きは、ご家庭でしていただきます。

もし、交換が必要な場合は、販売業者から購入して交換できます。自治体から補装具の修理として費用が出ますので、補助を受ける場合は事前に障害福祉課などの担当課に問い合わせ、申請をしてください。

(1) 白杖本体(シャフト)の種類

材質： 軽金属、ブラックカーボン、グラスファイバー、アラミド繊維… 種類によって、重さのほかにも伝達性や丈夫さが違います。

反射材付き・付いていないもの、赤や黄の色付のもの、色の付いていないもの

(2) 石づきの種類

スタンダード(細くて伝達性がよく、触れたものを察知しやすいが、凹凸に引っ掛かりやすい)、ティアドロップ(しずく型で少し広く、スタンダードより滑らか)、ローラー(ころころ転がり、路面につけてスライドを続ける時に引っ掛かりがなく使いやすいが、先端が重い。点字ブロックには止まりにくい)、パームチップ(面積が広く柔軟性があるので凹凸に応じて動き引っ掛かりにくい。高価な割に壊れやすい)、マッシュチップ(キノコの笠のような形で凹凸に引っ掛かりにくい)

* 白杖の種類によって微妙に太さが違いますので、交換の際は、白杖の種類も確認して注文してください。

(3) グリップの種類

細いもの、太いもの、角ばっているものなど。とても軽い材質のものもありますが、振る人には、グリップにある程度重さがあった方が振りやすいです。

取扱業者は、日本点字図書館、日本視覚障害者団体連合、(株)KOSUGE など。